

# 県立高校の在り方に関する 地区別情報交換会

令和7年11月7日

群馬県教育委員会

# 高校を取り巻く環境の変化

## 1. 社会の変化

- ・複雑かつ予測困難な課題を抱えた現代

➤ 高校教育の果たす役割は大きい

## 2. 生徒の多様化

- ・生徒の学習ニーズ、興味・関心、進路希望等の多様化

➤ 多様な生徒受入の体制づくりが必要

## 3. 生徒数の減少

- ・継続的な中学校卒業者の減少

➤ 学校の活力維持や特色化が必要

## 4. 教育のデジタル化

- ・社会や生活様式が大きく変容し、デジタル化が加速

➤ デジタルを活用した、個別最適な学びを推進

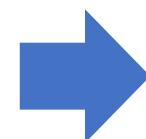
**高校教育改革（県立高校の在り方の検討）が必要**

## 既存の取組

- ◆ スーパーサイエンスハイスクール
- ◆ 非認知能力育成
- ◆ DXハイスクール など

+

## 在り方検討



すべての子どもに  
公平で質の高い教育

### 01 地区別情報交換会

現状・課題等の情報共有

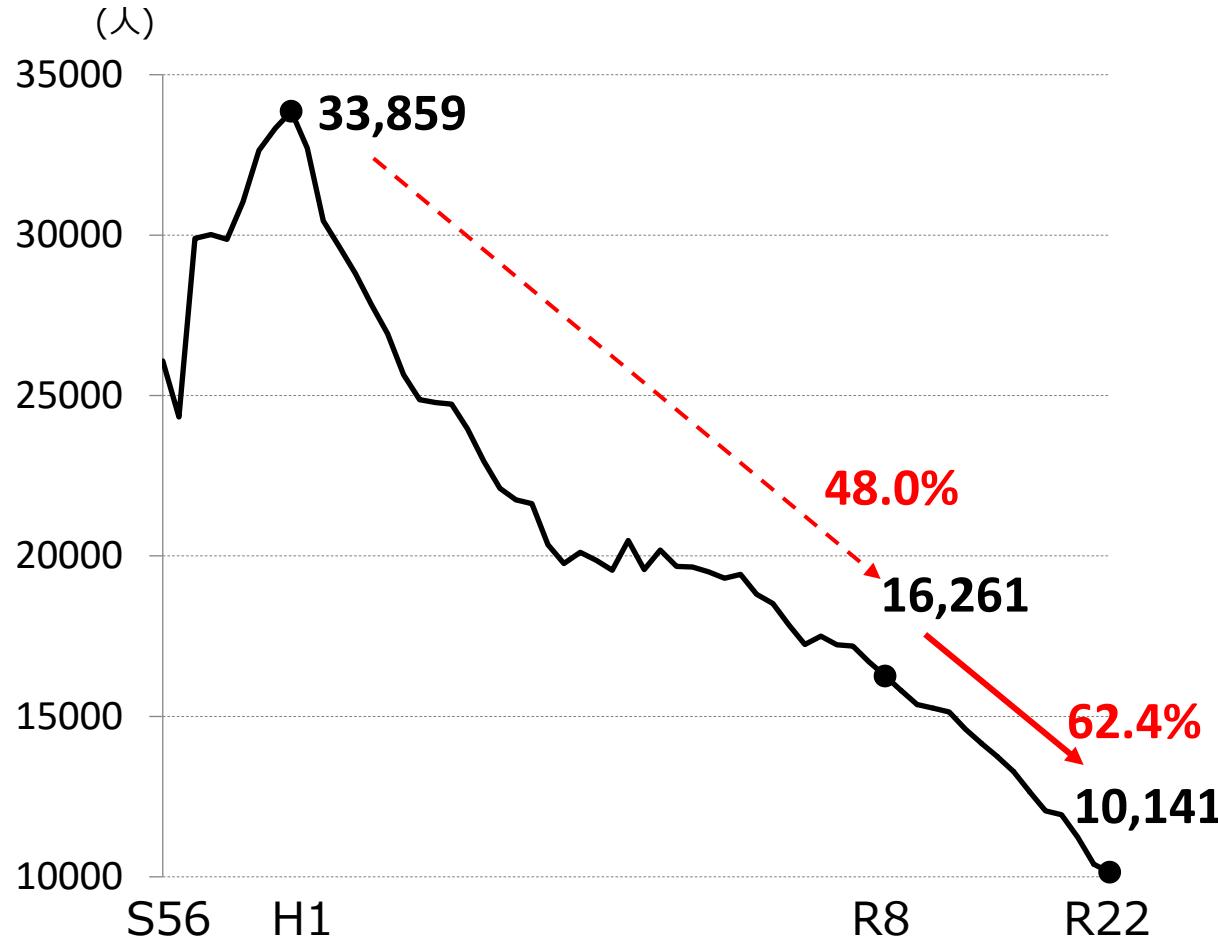
### 02 地区別検討会

地区ごとにゼロベースで  
幅広く在り方を検討

## 県内及び地元中学校等卒業見込者数の推移について

学校基本調査準拠

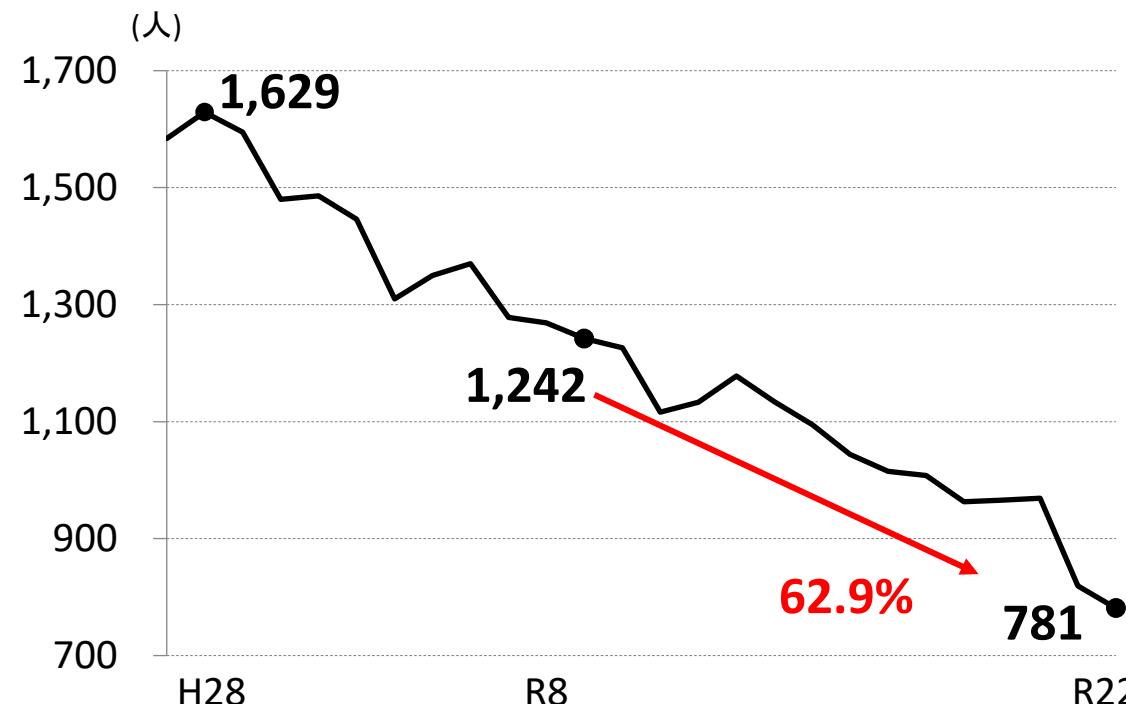
## 群馬県



- 今後、数年間の見込み

R8→R9 : -455 , R9→R10 : -436 , R10→R11 : -114

## 渋川市・北群馬郡・吾妻郡



R8と比較して、R22(14年後)は、461人減の見込

現在の高校数を維持

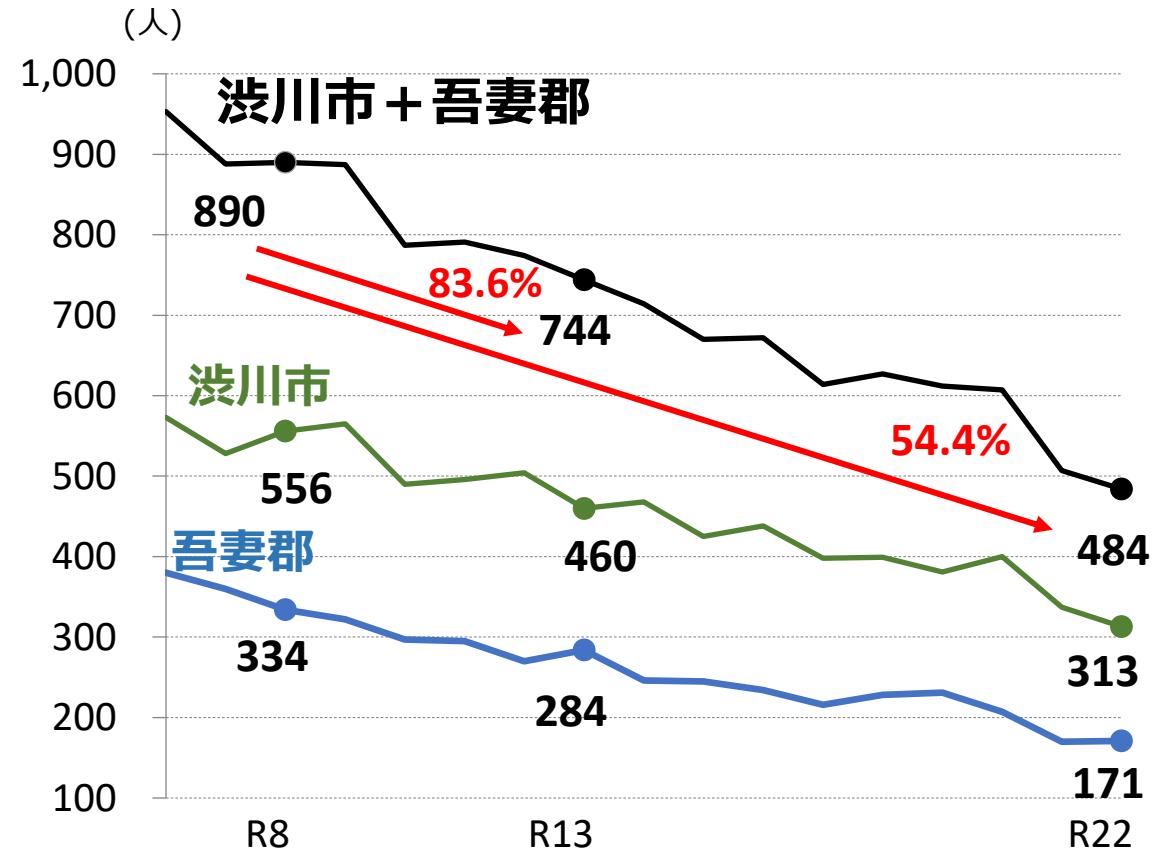


各高校の小規模化が進行

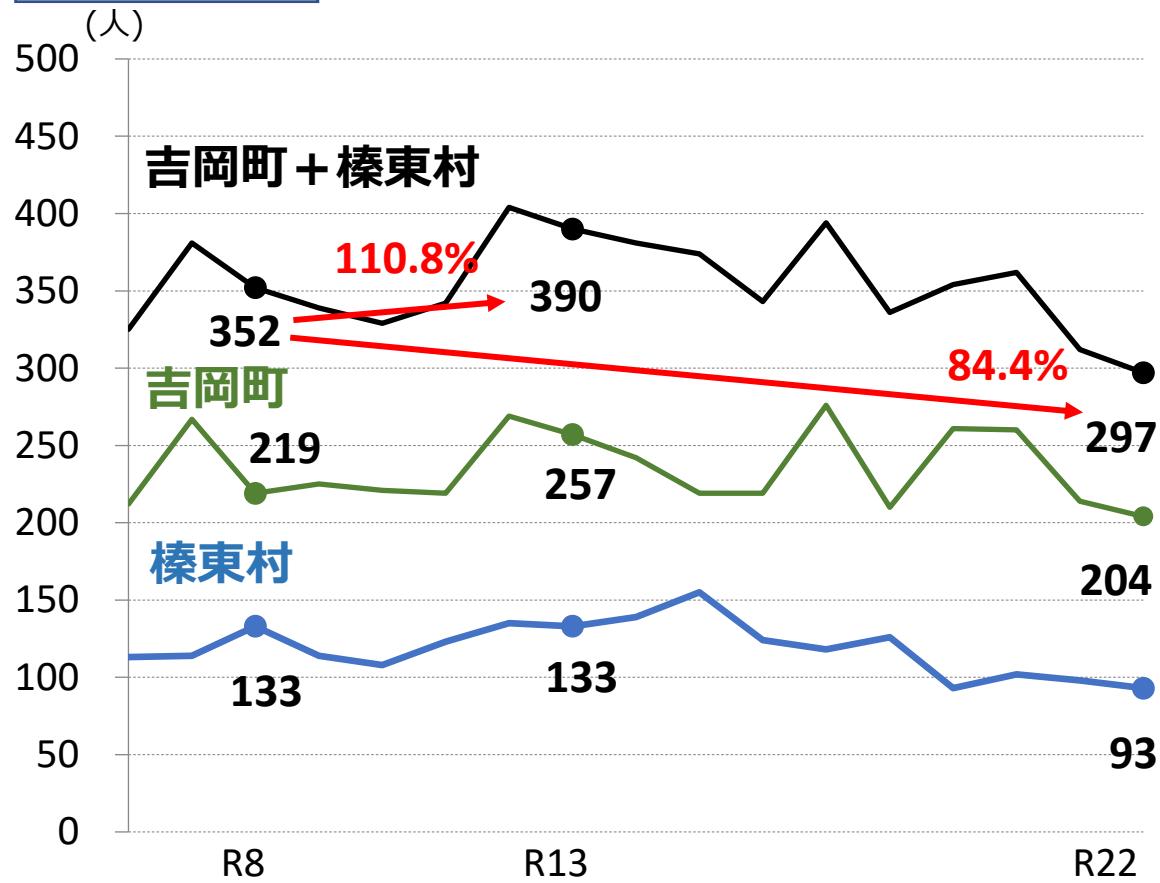
## 都市別中学校等卒業見込者数の推移について

学校基本調査準拠

## 渋川市・吾妻郡



## 北群馬郡



# 地区内の公立高校のプロフィール

(R7学校要覧等をもとに作成)

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

学校名	課程	R7.3 卒業者 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
			大学	短大	専門 学校等	就職	
渋川	全	187	162	1	8	6	1920年創立の <b>普通科男子校</b> 。55分授業。校訓：質実剛健、堅忍持久「学び続ける力を備えた人材の育成」…生涯にわたって学び続け、主体的に社会的課題の解決に取り組むことのできる資質・能力を育成する
渋川女子	全	193	169	6	10	0	1920年創立の <b>普通科女子校</b> 。SAH指定校。校訓「道理と真理へのたしかなあゆみ」「勤労と趣味へのたしかないとなみ」のもと「実りある豊かな学習」「規律ある明るい生活」「健康で伸びやかな心身」を教育目標とし、知・徳・体のバランスを重視した教育活動を展開
渋川青翠	全	140	21	4	58	53	1998年に校名変更(1977年開校の渋川西高校から)した <b>総合学科高校</b> 。A:アカデミア、B:ビジネス、C:カルチャー、D:デザインの4系列。教育目標：心身ともに均衡のとれた、人間性豊かな、実行力のある社会人を育成する。
渋川工業	全	139	26	2	29	82	1958年創立の <b>工業高校</b> 。機械科、自動車科（県内唯一）、電気科、情報システム科の4学科を有する。教育目標：個性の伸長を図るとともに、自ら考え判断し、産業社会で意欲的に活動する、誠実で思いやりのある人材を育成する。
〃	定	11	0	0	8	3	1963年設置。工業技術科、男女共学。

## 地区内の公立高校のプロフィール

(R7学校要覧等をもとに作成)

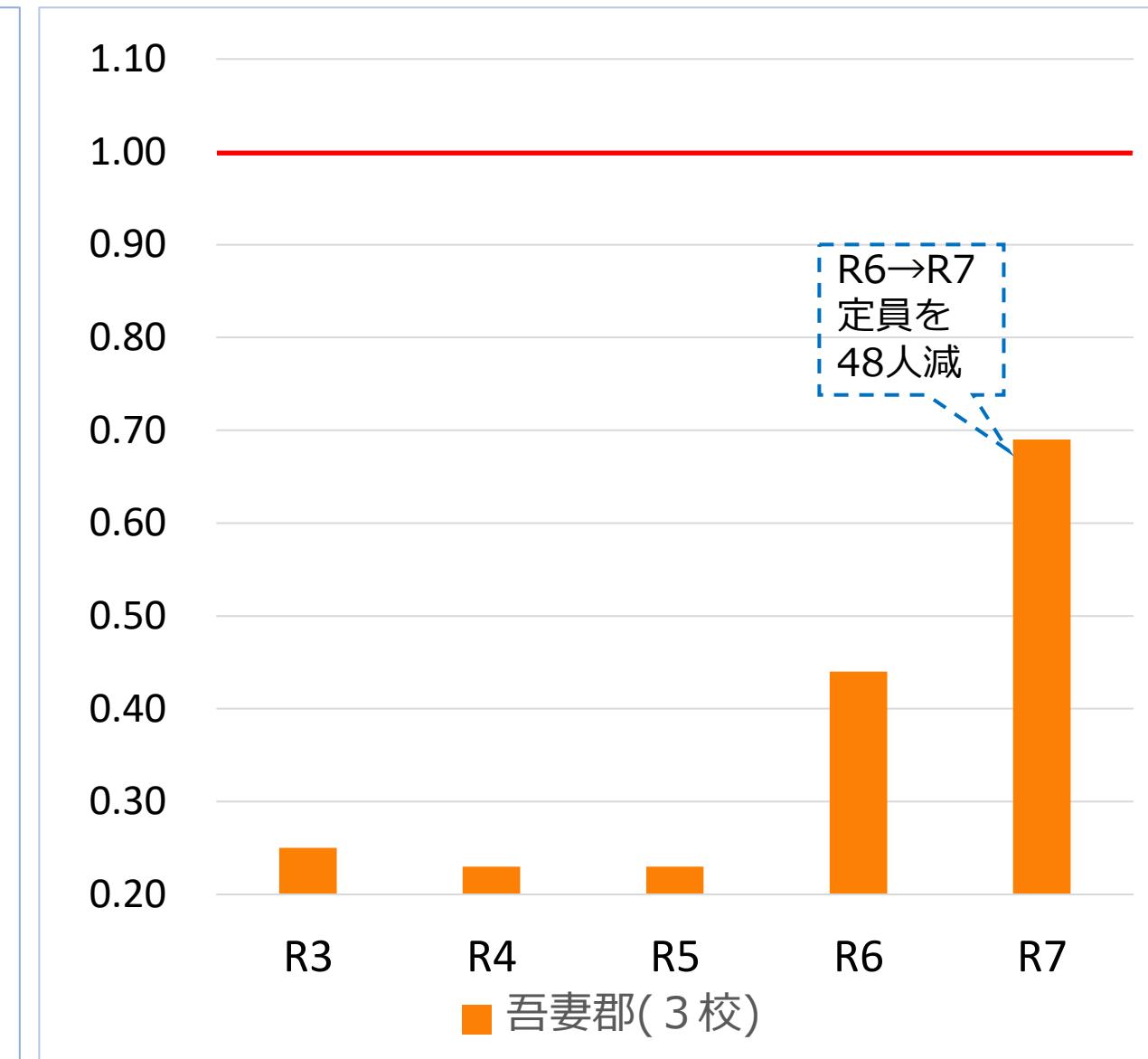
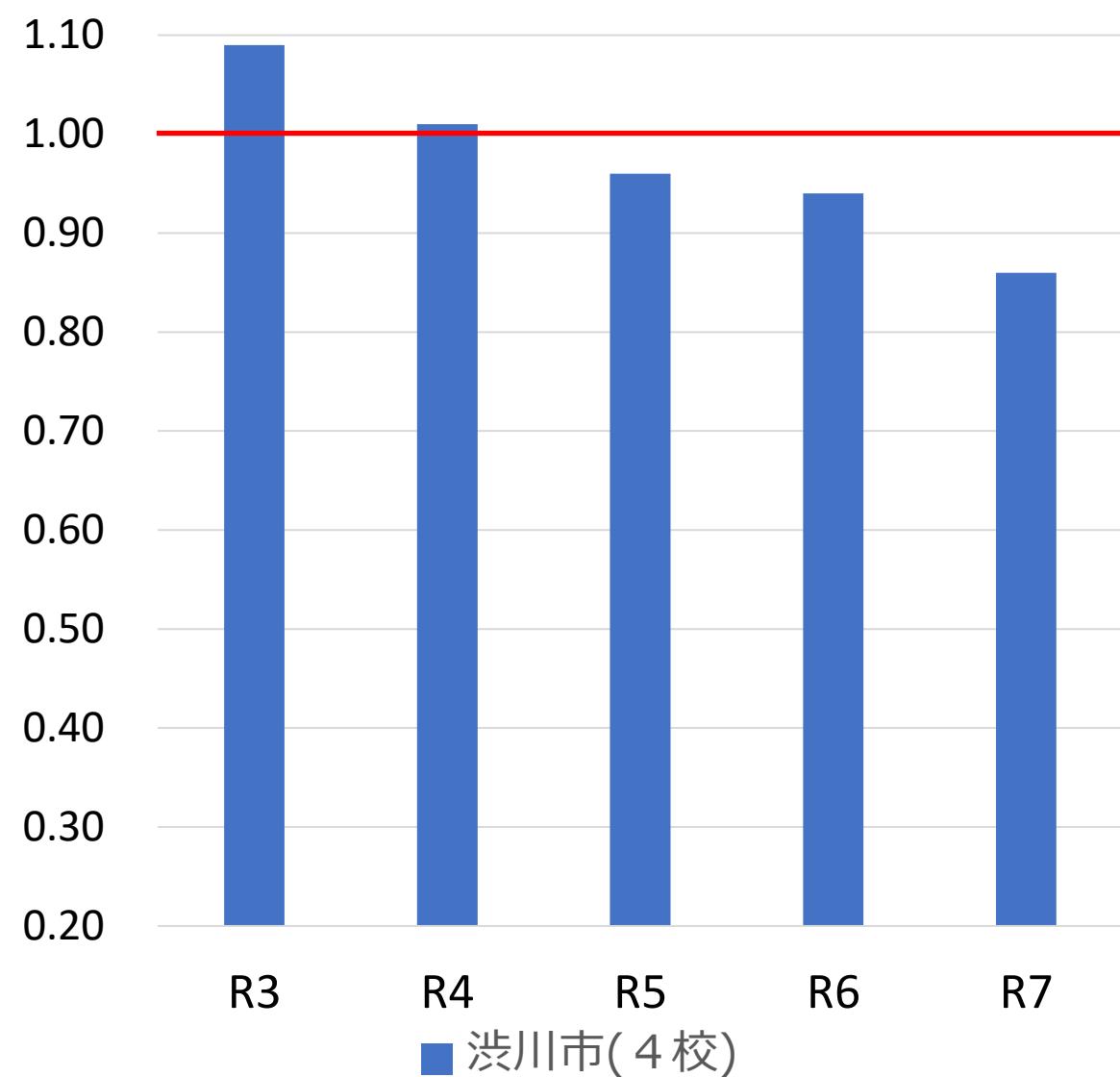
課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

学校名	課程	R7.3 卒業者 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
			大学	短大	専門 学校等	就職	
吾妻中央	全	151	48	5	52	43	<p>2018年開校の<b>普通科と3つの専門学科</b>（生物生産科 [植物科学コース・動物科学コース]、環境工学科、福祉科）を併置する学校。</p> <p>グローバル・リソース（卒業までに身に付けられる力）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○吾妻とともに育む「夢実行力」</li> <li>○社会の一員としての自信と、しなやかでたくましい心</li> <li>○未来を見据えた確かな学力と、日本を支える3つの専門性</li> </ul>
長野原	全	19	0	2	7	7	<p>1952年創立の<b>普通科共学校</b>。</p> <p>「ぐんまコミュニティ・ハイスクール」指定校として、地域と一体となつた教育事業を推進。</p> <p>教育目標「個を伸ばし、和を育む教育の推進」</p> <p>“あっとほーむ長野原”を通して一人ひとりの持ち味や特技を伸ばし、互いに思いやり協調する心を育む。</p>
嬬恋	全	17	3	1	10	2	<p>1952年創立の<b>普通科共学校</b>。連携型中高一貫教育推進校。</p> <p>2025年度入学生から、未来創造コース、探究アスリートコースの2コース制に改編し、カリキュラムを大きく変更。</p> <p>全国生徒募集（探究アスリートコースはスケート又はスキー実技選択者）を実施。</p>

## 地区内の公立高校のプロフィール

## 公立高校(全日制課程)の入試倍率\*の推移

\*入試倍率…R3～R5は後期選抜

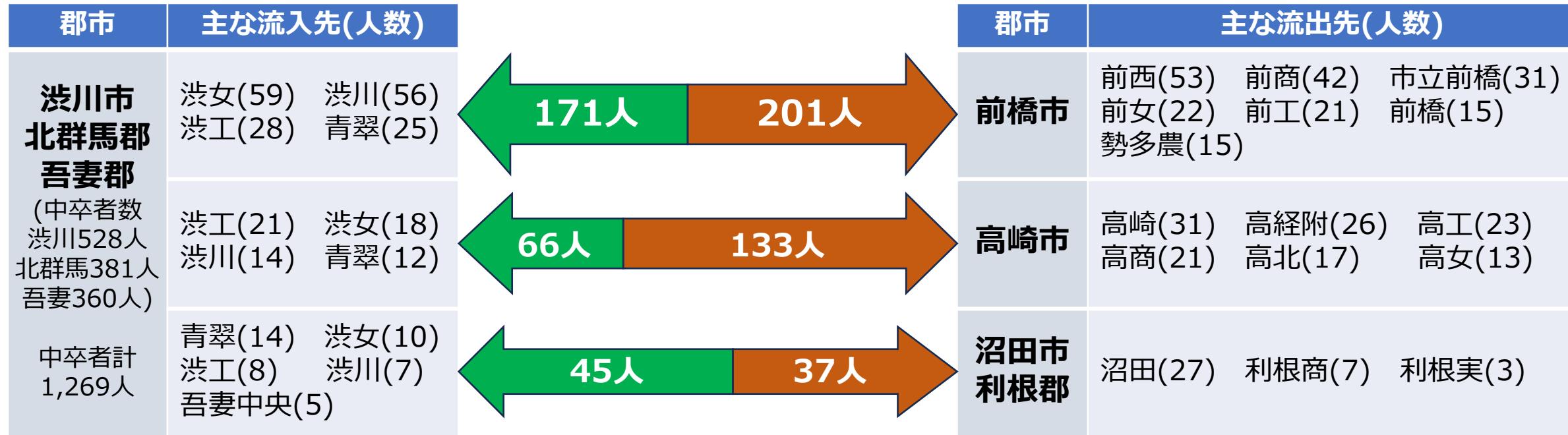


# 中学校卒業者の流入出について

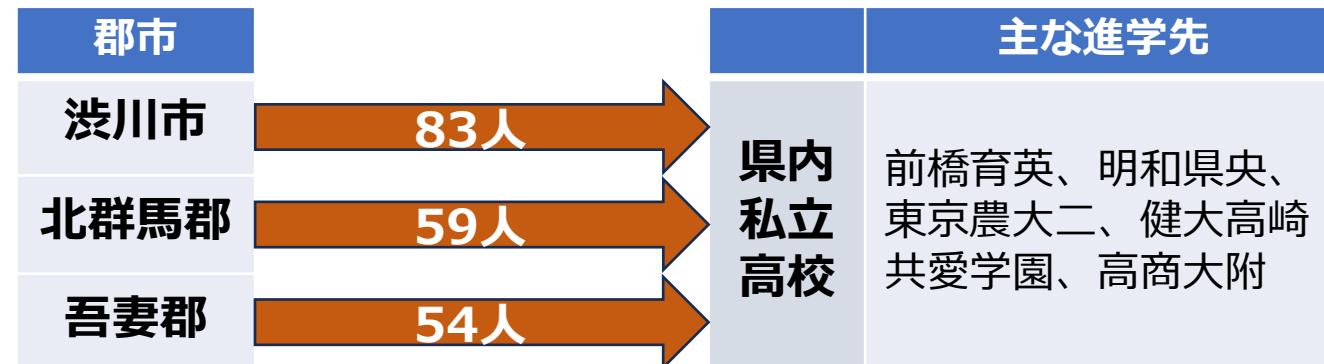
学校基本調査等を基に作成

## R 7 中学校卒業者の主な動き

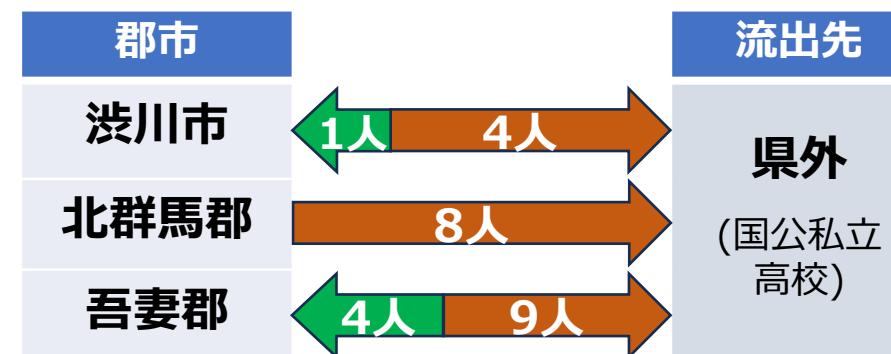
### 【県内他地区】



### 【県内私立高校】



### 【県外】



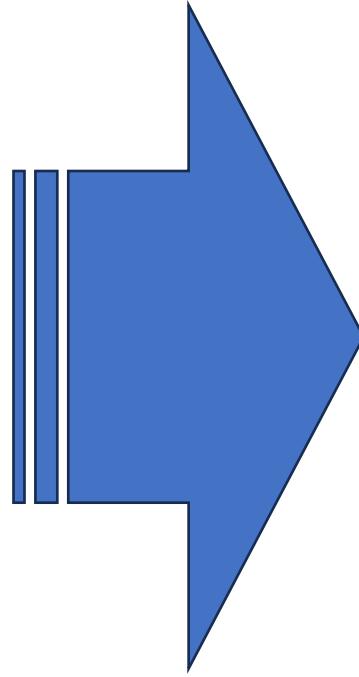
# 中学校卒業見込者数に伴うシミュレーションについて

## 中学校卒業見込者数

卒業年月	令和8年3月	令和13年3月	令和17年3月	令和22年3月
中学校卒業見込者数	1,242	1,134	1,008	781
増減(令和8年3月比)	-	-108	-234	-461

## 学級数及び学校数の見込み

高等学校名	学科等	令和8年		令和13年	令和22年
		学校数	学級数		
渋川	普通科	4	学級	7校	7～4校
渋川女子	普通科	5	"		
渋川青翠	総合学科	3	"		
渋川工業	工業系学科	4	"	25学級	23～19学級
吾妻中央	普通科/農業系学科/福祉科	5	"		
長野原	普通科	2	" *		
嬬恋	普通科	2	" *		



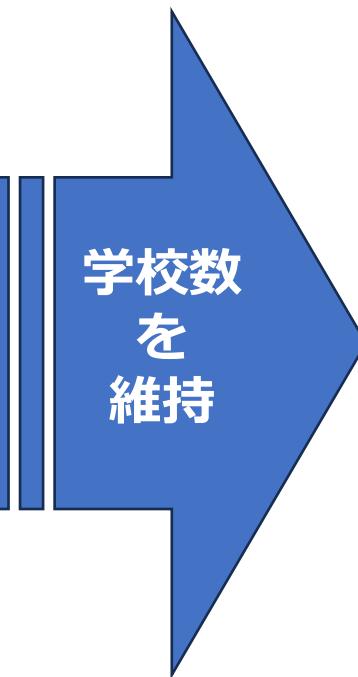
\* 1学級22人

令和8年度  
1学年定員

全日制課程

## 7校・25学級

渋川	普通科	4学級
渋川女子	普通科	5 "
渋川青翠	総合学科	3 "
渋川工業	工業系学科	4 "
吾妻中央	普通科/農業系学科/ 福祉科	5 "
長野原	普通科	2 " *
嬬恋	普通科	2 " *

平均学級数  
3.6学級/1校

\* 1学級22人

令和22年度  
シミュレーション

## 7校・15.7学級

渋川	2.5学級
渋川女子	3.1 "
渋川青翠	1.9 "
渋川工業	2.5 "
吾妻中央	3.1 "
長野原	1.3 "
嬬恋	1.3 "

\* 地区内の中学校  
卒業見込者数の推移  
R 8比 [62.9%] を基に  
算出

- 1学年の  
平均学級数  
2.2学級/1校
- ほとんどの学校が  
3学級以下に

※ [第2期高校改革推進計画] 2 県立高校の再編整備 (1)適正規模

イ 学習の専門性の確保に加え、多様な部活動の保障や学校行事等の活力維持から、1学年当たり4~8学級を基本とします。

# 高校における小規模化の課題

生徒同士が学び合い、切磋琢磨できる機会の減少、多様な学び・充実した教育活動の実施が困難

## 1. 学校の活力への影響

【学校行事・部活動など】

- クラス対抗行事や体育大会の種目数の縮減など、活動の幅が限定される。
- 文化祭等の準備・運営が困難になり、学校行事等が縮小される。
- 部活動数が少なく、生徒は希望する活動ができない。
- 部員数が少なく、運動部のチーム編成や、音楽系部活動のパート編成等が難しい。



生徒の学びの機会の減少

## 2. 学習活動への影響

### 【学習活動】

- コース別や習熟度別などの編成がしにくく、多様な学習形態を取りにくい。
- 専門の教員をそろえ、全ての科目を開講することが難しい。  
(高校では、総合的な探究の時間以外に10教科 15科目が必履修科目)  
→生徒の科目選択が制限される

### <学校規模別の配置教諭数の例（理科）>

教科	科目	学校規模(1学年当たりの学級数)			
		2学級	4学級	6学級	8学級
理科	科学と人間生活				
	物理基礎				
	物理				
	化学基礎				
	化学	2人	4人	5～6人	6人
	生物基礎				
	生物				
	地学基礎				
	地学				
	理科課題研究				



### 生徒の進路選択に影響

(進学に必要な受験科目が選択できない等)

## 栃木県

## ➤ 未来共創型専門高校 (再編統合)

- ・複数の職業系専門学科を併置 → 学科横断的学習を推進する総合選択制

## &lt;特徴&gt;

- \* 異なる学科の生徒が連携・協働して探究的に学ぶ活動を推進
- \* 他の専門学科の科目や発展的な普通科系科目の選択が可能

## 岡山県

## ➤ 県立岡山御津高校 (総合学科) (学科改編等)

- \* 高校進学を目指しているが、様々な理由で登校できていない中学生のための「教育支援センター“My Place”」を開設 (R6)
- \* 全日制高校への進学を目指している不登校傾向の中学生に対して、入学後、他校の通信制課程の科目を一部履修 (全通併修) することができるフレックス制を導入 (R7)

## 大分県

### ➤ 大分県立情報科学高校 (学科改編等)

- ・2023年度に新たな時代を担う人材育成を目指して学科改編  
→A I テクノロジー科、ビジネスソリューション科、デジタル創造科の3学科  
<特徴>  
\* A I 、 I o T 、半導体など高度先端分野を総合的に学ぶ (A I テクノロジー科)

## 兵庫県

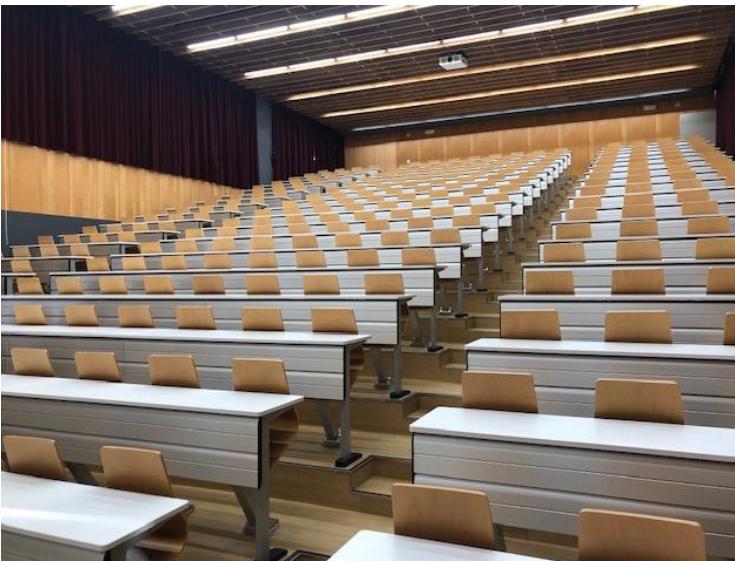
### ➤ 兵庫県立北神戸総合高等学校 (再編統合)

- ・2025年、県立神戸北高校(普通科)と神戸甲北高校(総合学科)の発展的統合により開校  
→これからの中時代に合わせた多彩な科目 (系列) を設置した総合学科高校  
<系列> 宇宙・気象、DX、ひょうごからスタートアップ、スポーツ・アウトドアと防災、ダイバーシティー&インクルージョン、リベラルアーツ の6系列

## 京都府

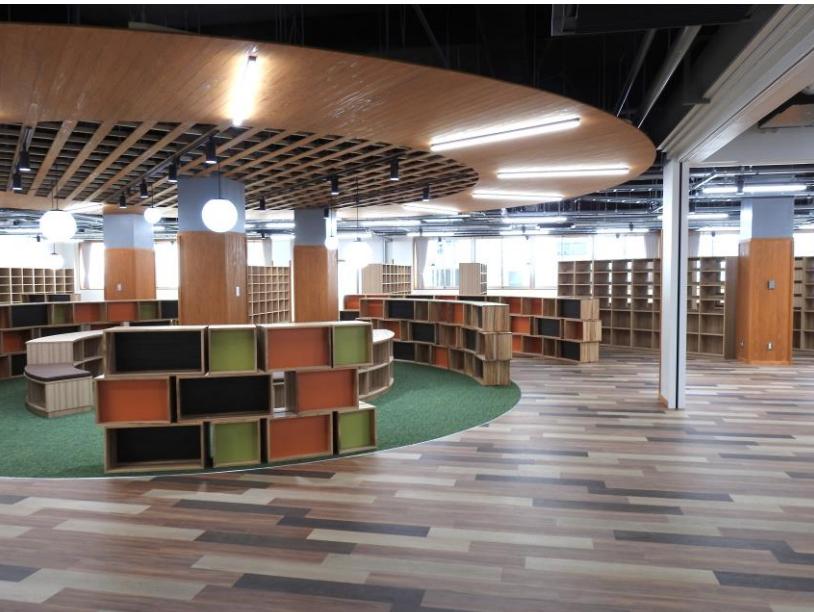
## ➤ 京都市立開建高等学校 (学科改編等)

- ・2023年、京都市立塔南高校(普通科・教育みらい科設置)を再編して開校  
→ルミニノベーション科 (その他普通教育を施す学科) を設置 (1学科のみ)  
\* 「自ら主体的に考え、探究し、多様な他所と協働することを楽しみ、未来を創造する人物」の育成を目指し、対話・協働の学び、地域・社会での学び(探究活動)を展開。

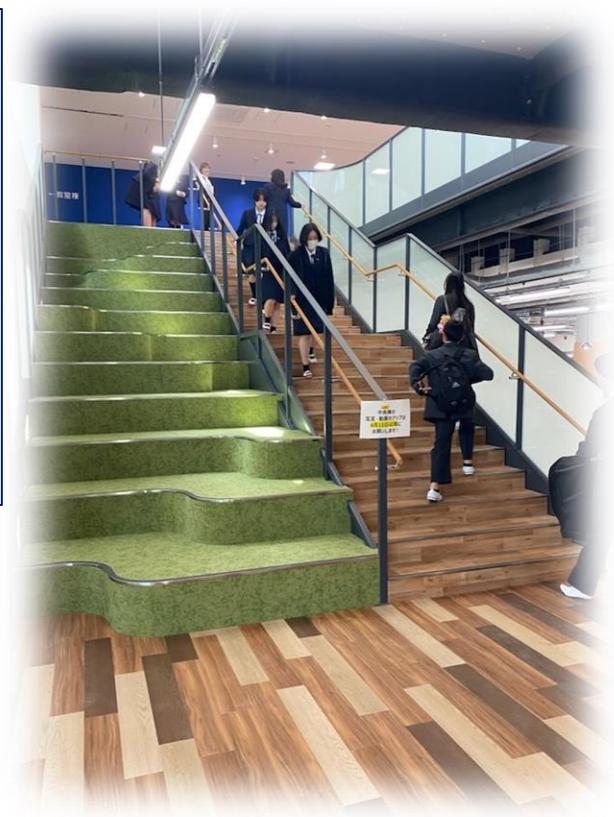


## ➤ 沼田高等学校 (再編統合)

- ・沼田高校と沼田女子高校の統合により、  
2025年4月に開校した普通科共学校  
→進学重視型単位制、文理探究コースを設置
- \* 幅広い選択科目…自分だけの時間割
- \* メディアラーニングセンターをはじめとする最新の学習環境を整備



← メディアラーニングセンター



## 検討方法

- 座長は第三者（有識者等）で開催
- 開催の要望を頂くなど、準備の整った地区から順次開催

## 検討内容

- 地区の高校の未来像について
  - ・生徒、地域の未来にとって、どのような高校が必要か
  - ・各地区にふさわしい高校とは 等



ゼロベースで  
地区関係者による  
検討